

■ [ゴールド]で特色印刷！ ■

■ ゴールドの特色を生かしたイラスト

特色[ゴールド]は光沢感が特徴です
イラストでメタリックな反射を表現
してみましょう

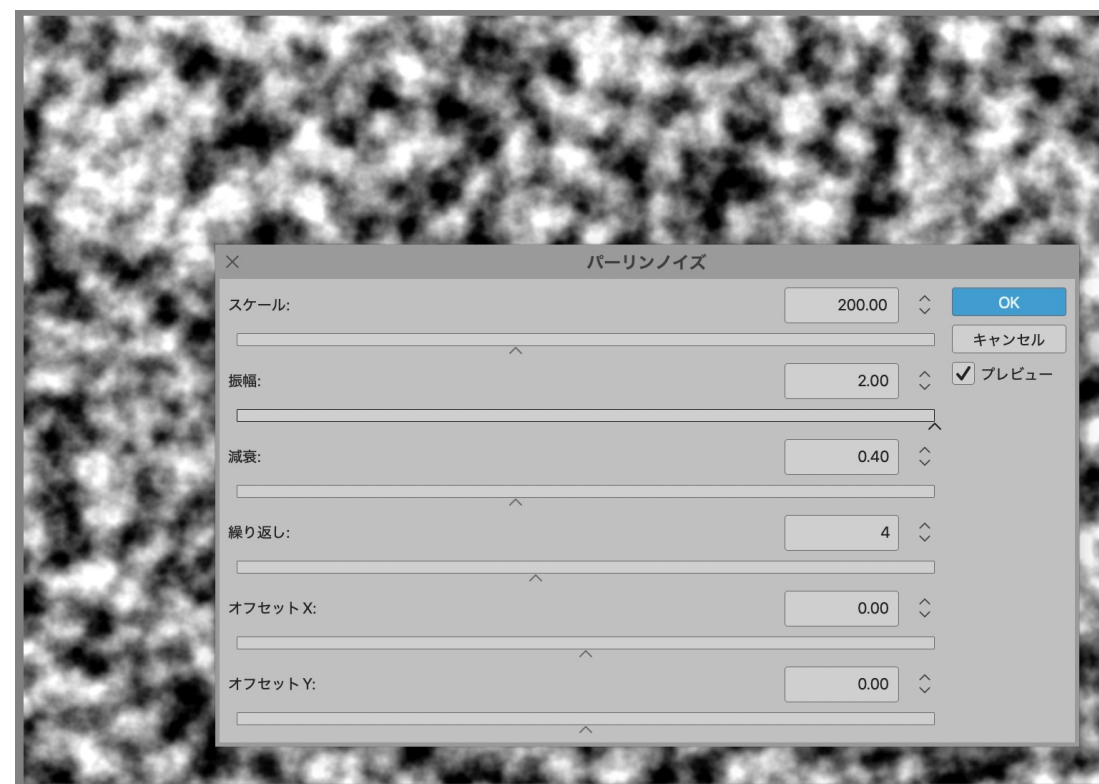


■パーリンノイズで金属光沢を■

■ 金属光沢の表現01

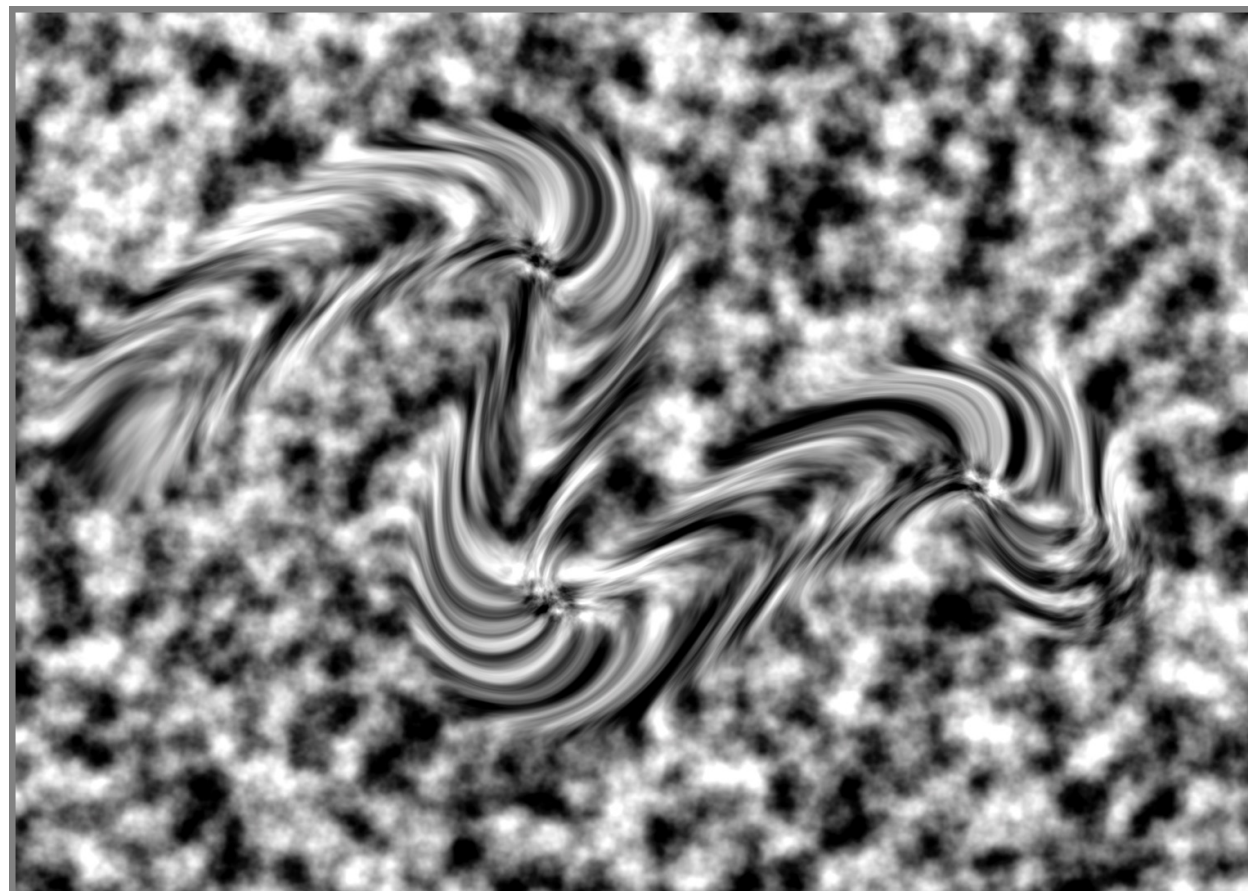
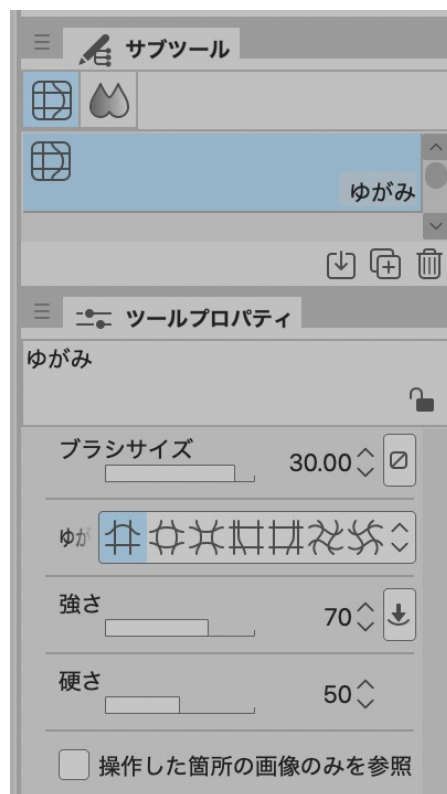
フィルター[パーリンノイズ]を使って光沢表現を描きます

…何を言っているかわからないと思いますが、話を聞いて…



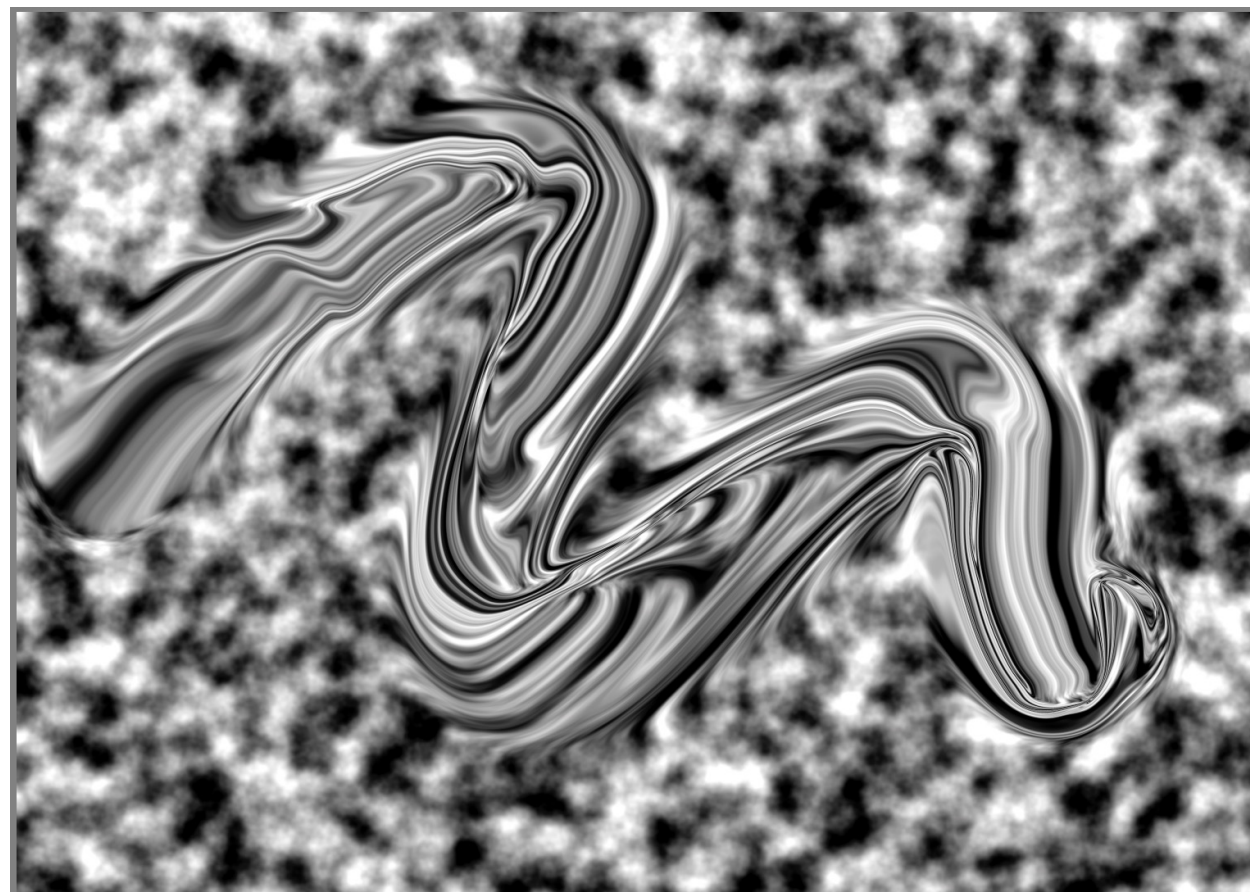
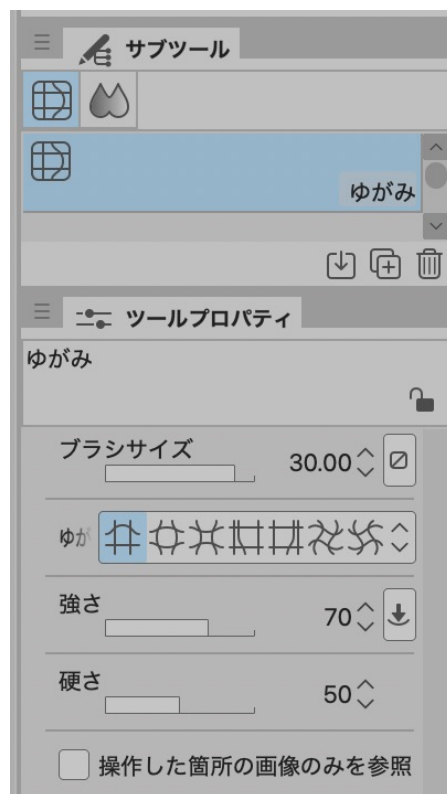
■ 金属光沢の表現02

ゆがみツールのブラシサイズを大きめに設定して画像をなぞります



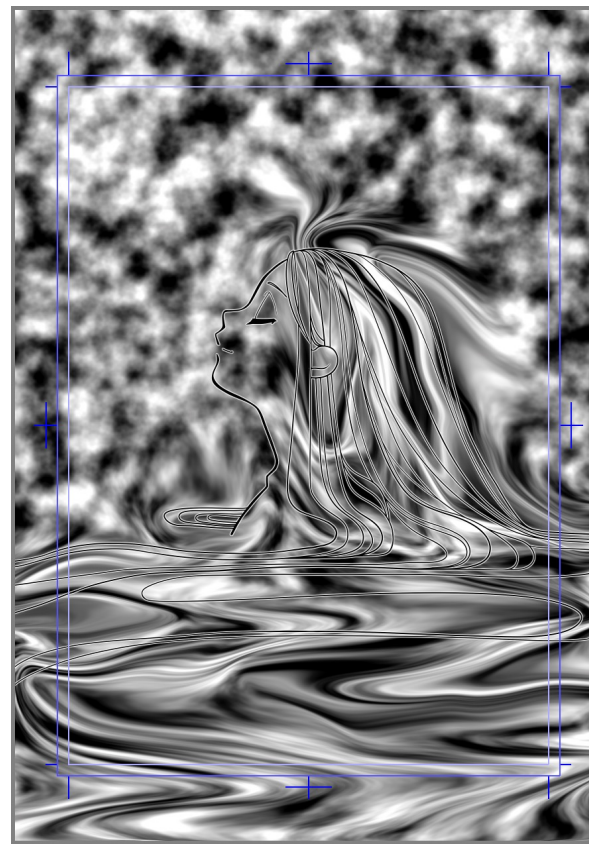
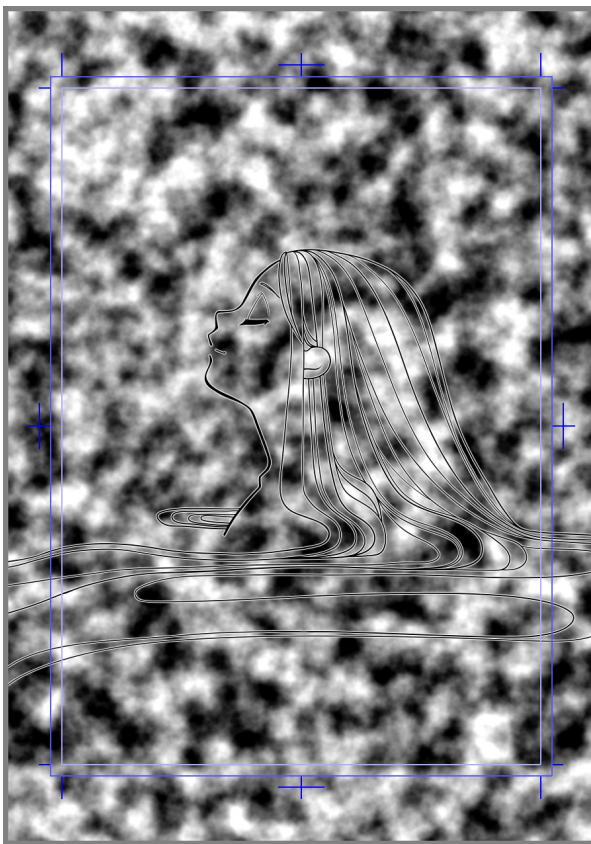
■ 金属光沢の表現03

重ねてゆがませていくと流体のような表現に近づきます



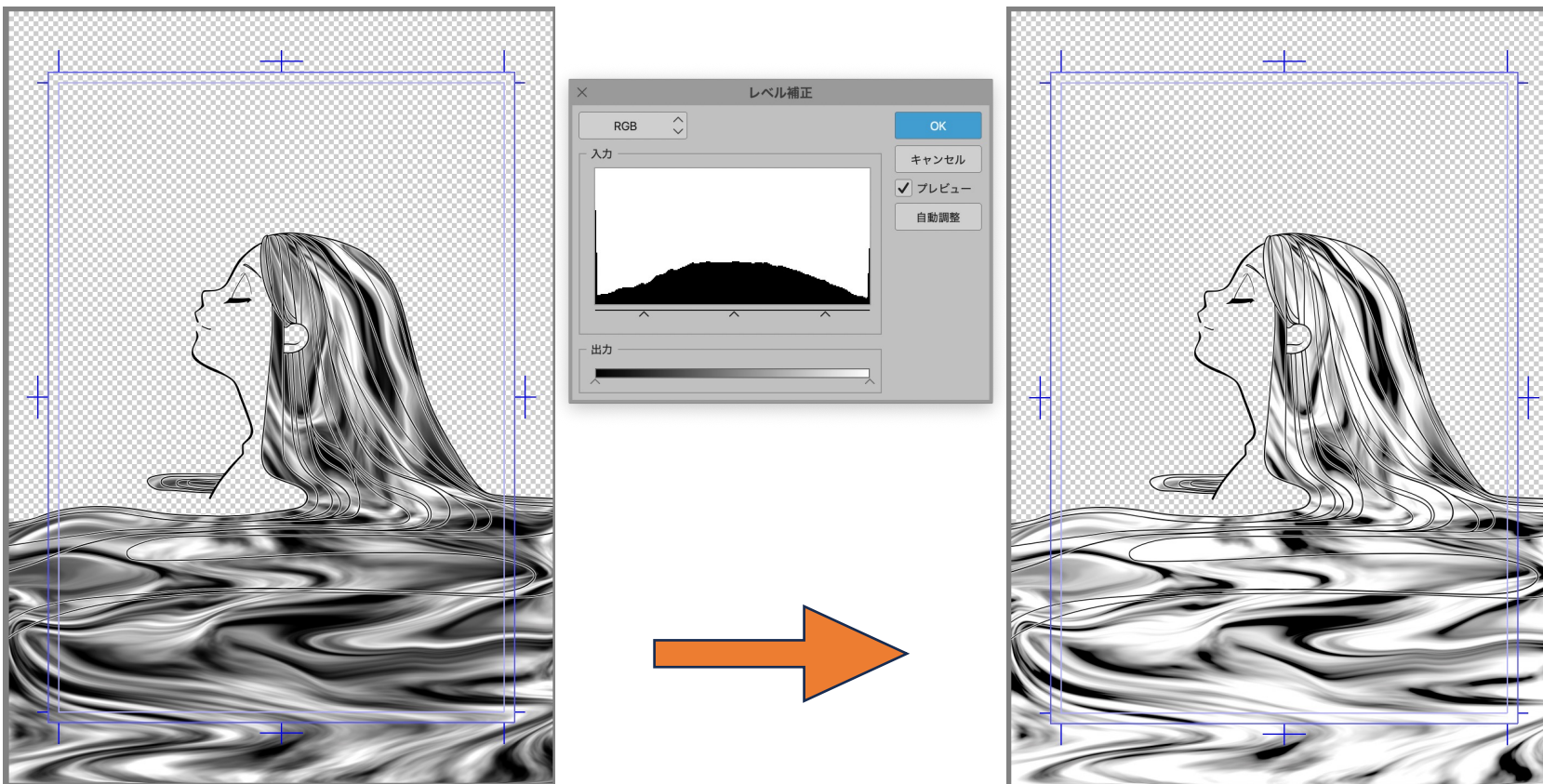
■ 髪の毛の効果を描く 01

線画を確認しながら形に合わせてゆがませていきます



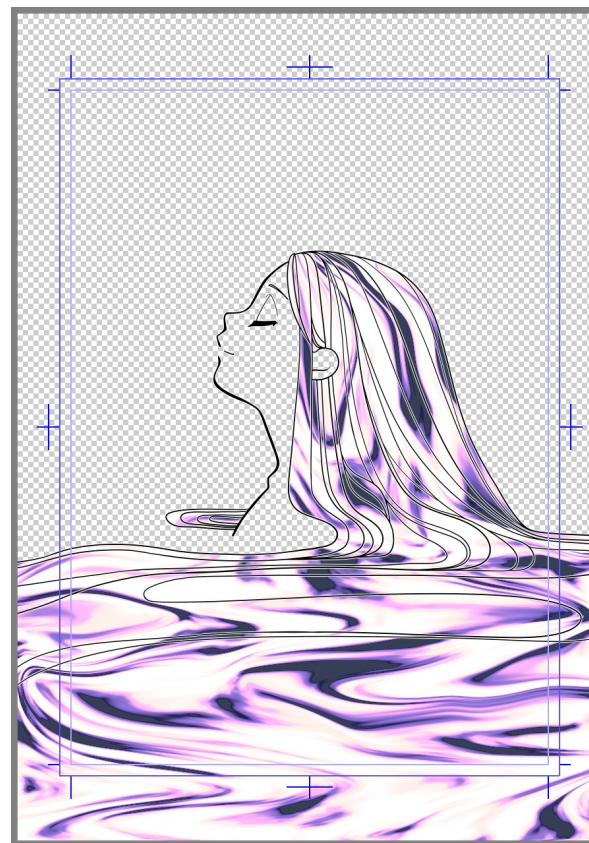
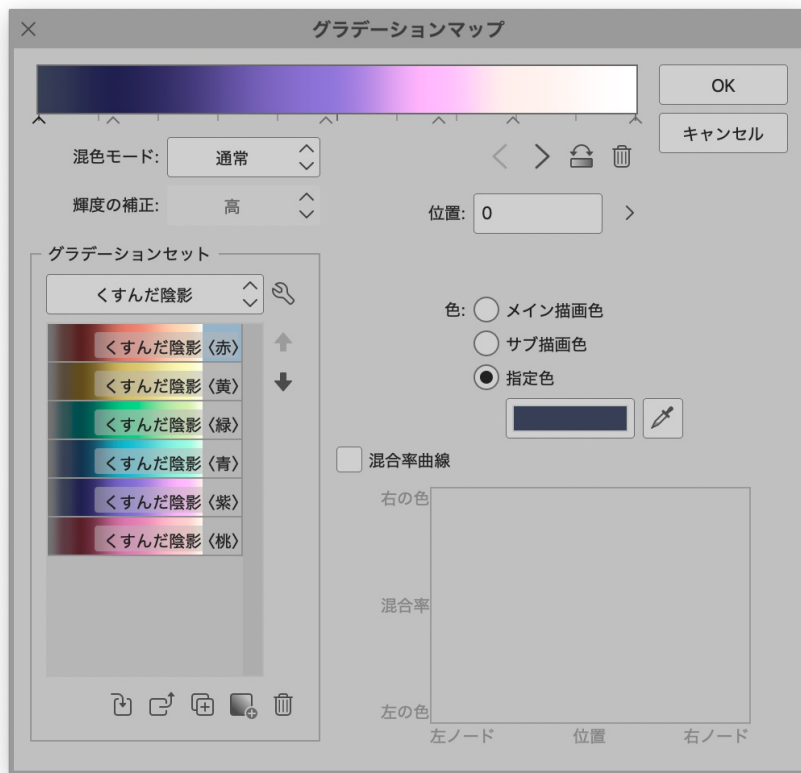
■ 髪の毛の効果を描く 02

不要部分を消去して色調補正[レベル補正]でコントラストをアップ
(後で使うのでレイヤーを2枚に複製しておきます)



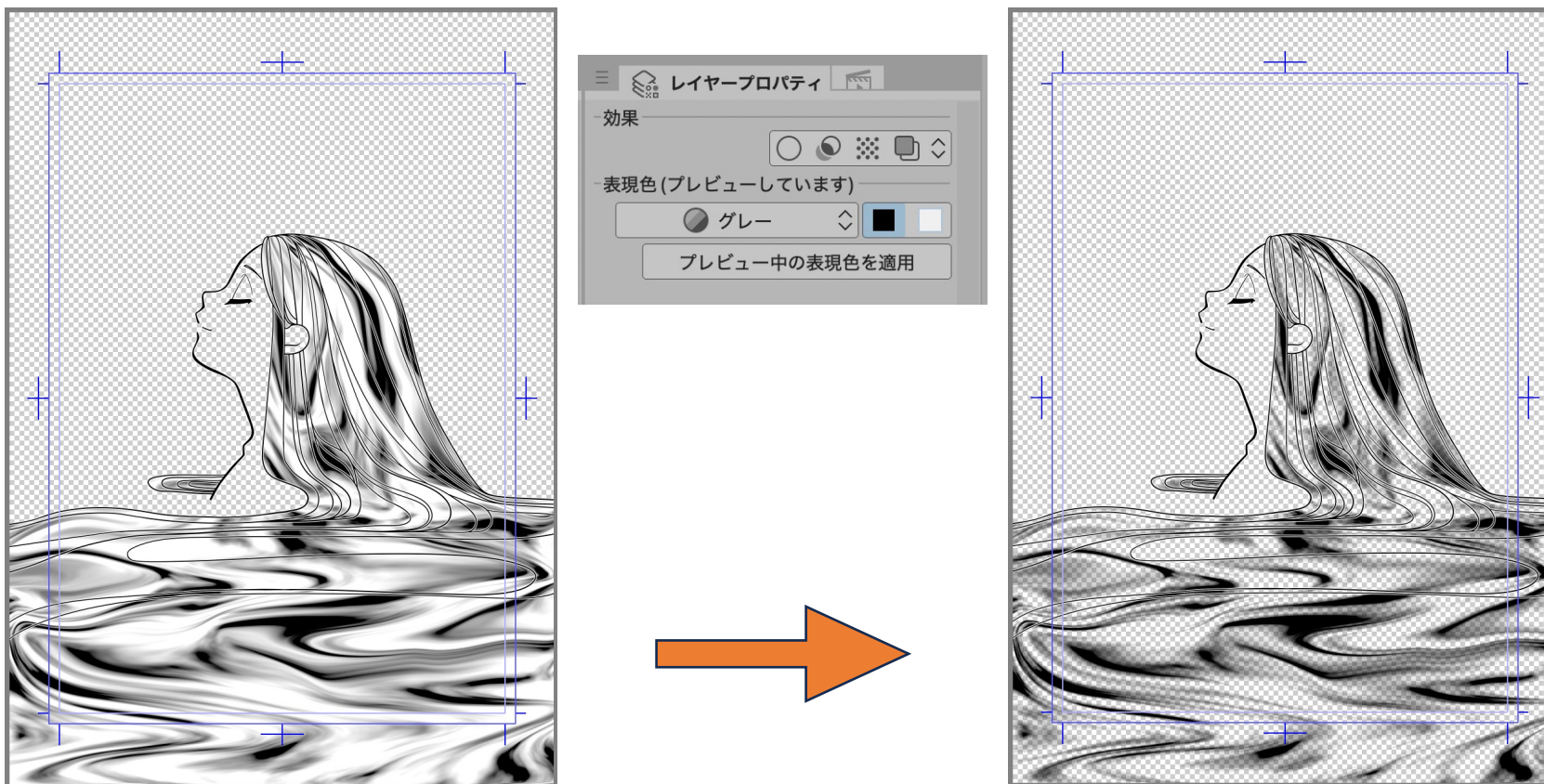
■ 髪の毛の効果を描く 03

もっと色の変化が欲しければグラデーションマップで色付けします
(この作業はなくても大丈夫！)



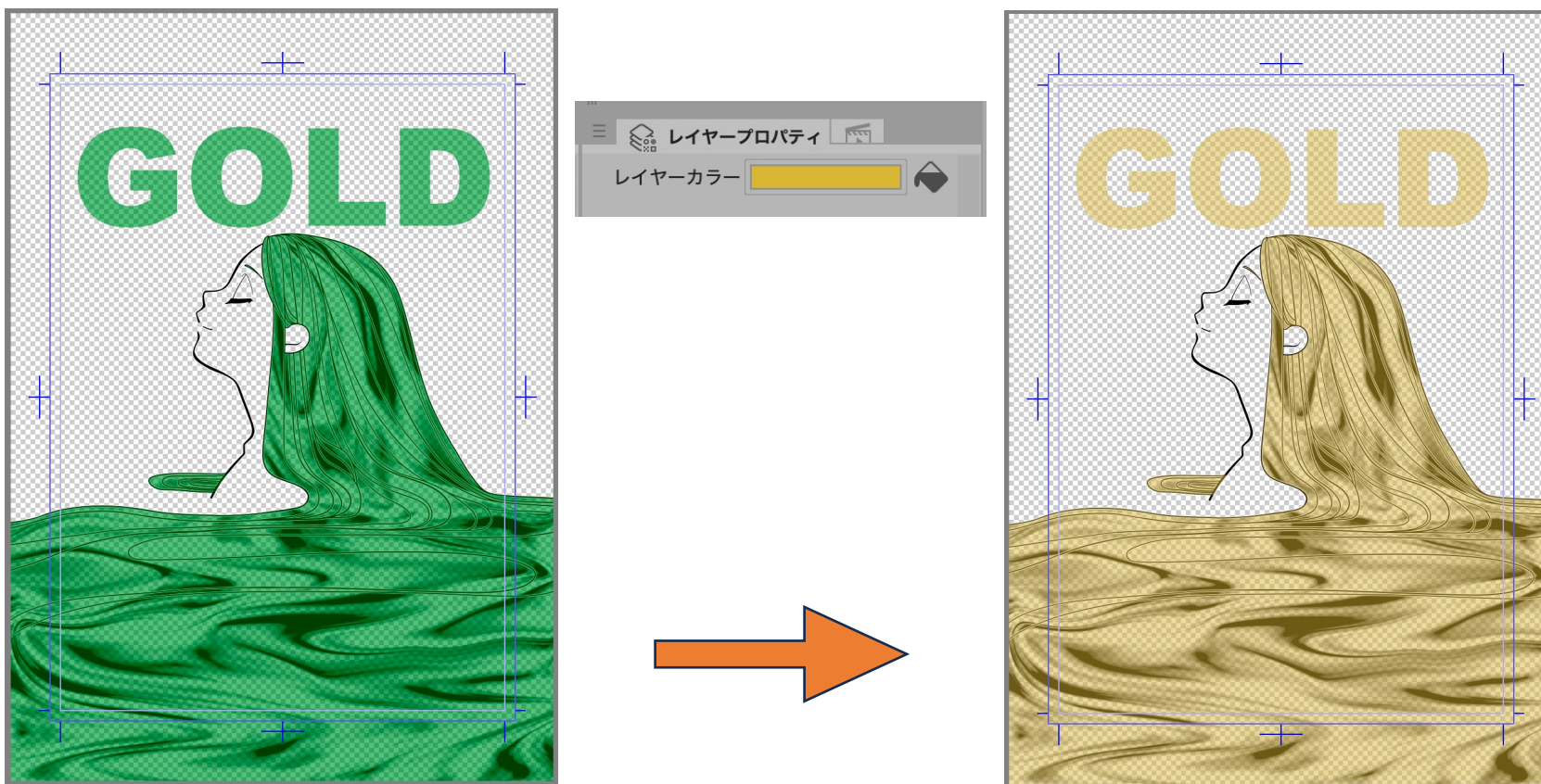
■ 髪の毛の効果を描く 04

複製したレイヤーの表現色を[グレー]に変更 & [黒 ■] をクリックで
白部分を透明化します(必ず表現色を適用を実行してください)



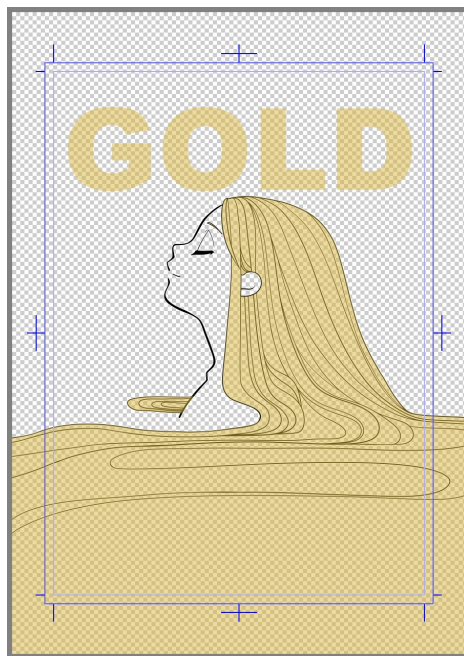
■ 髪の毛の効果を描く 05

特色部分を選択範囲レイヤーで塗りつぶし、レイヤーカラーを調整
(なんとなく金色っぽい雰囲気を出したいから)

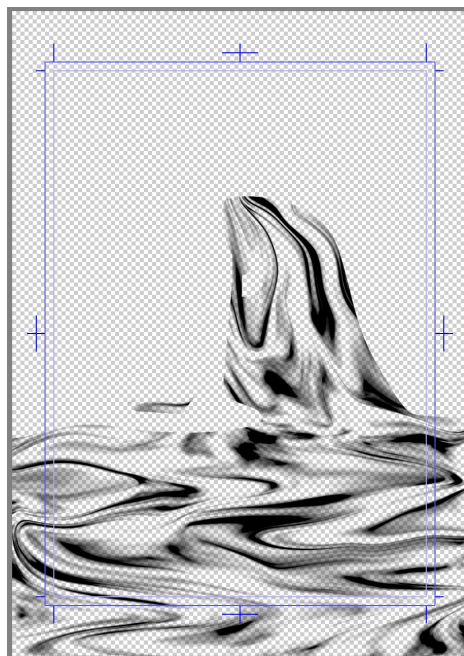


■ 髪の毛の効果を描く 06

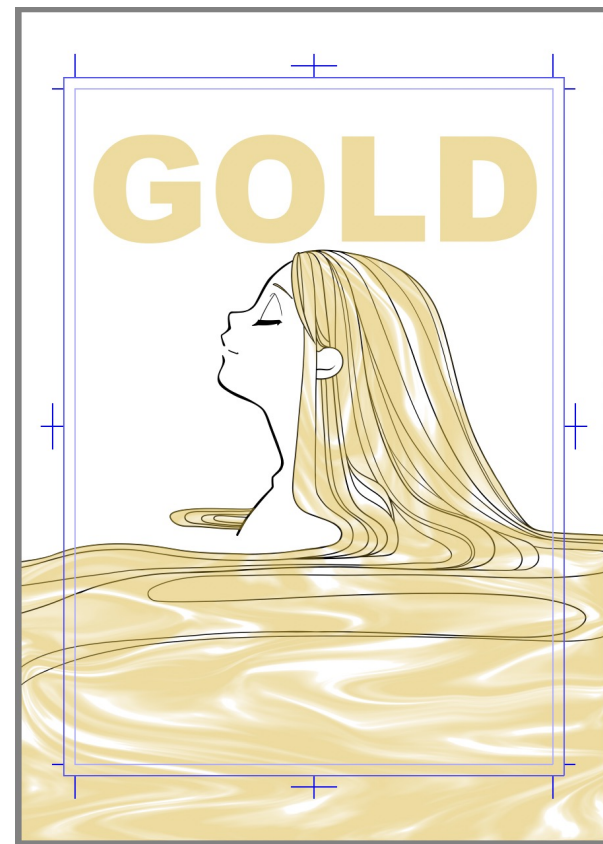
複製していた光沢レイヤー(黒のみ)から選択範囲を読み込んで
特色部分から削除します



—



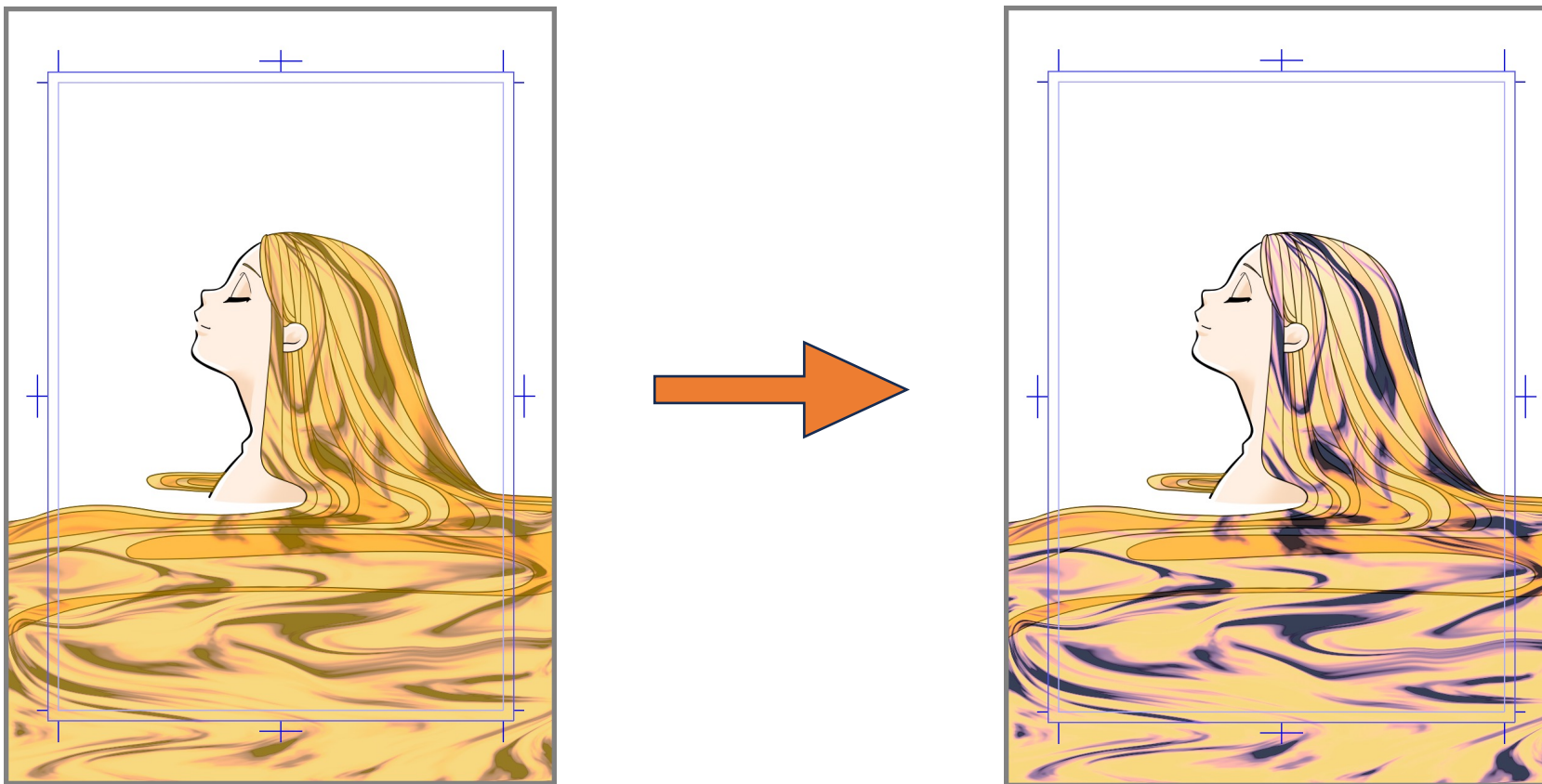
=



■ 髪の毛の効果を描く 07

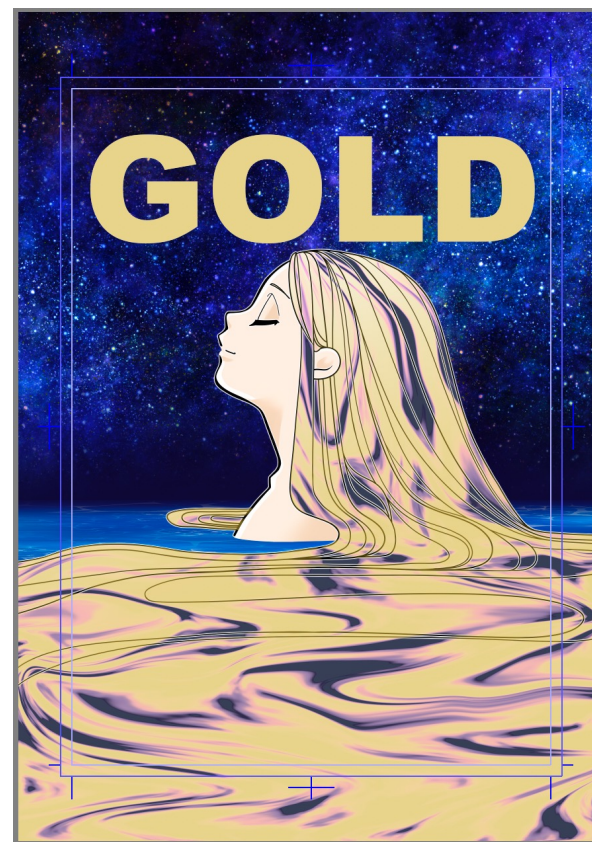
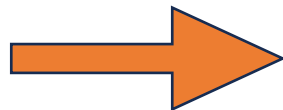
特色[金]とCMYKカラーがそのまま重なると互いが色の影響を与えます

CMYK(プロセス)カラーが重要な部分は特色部分を控えめに



■ 髪の毛の効果を描く 08

特色以外の色を全て描き終わったら、特色のレイヤーを重ねて
バランスを確認してください。



■ 完成！

